

和紙の里 ひおき

発行 平成28年2月25日
 日置地区まちづくり協議会
 鳥取市青谷町山根218
 電話 0857-86-0836
 FAX 0857-86-0837
 Eメール cc-hioki@city.tottori.tottori.jp
 題字 棚田 大さん



日置地区まちづくり協議会広報紙創刊にあたり

日置地区まちづくり協議会
 会長 伊藤 博光

日置地区まちづくり協議会は、平成20年に設立されてから7年が経過致しました。

地域の課題を見つけ自分たちの力で解決を図りながら、住みよい地域にしていけることを目標にして、今日まで取り組んできました。今回7年間の活動に対し、頑張る住民自治活動の団体として、鳥取県知事表彰を受けました。地域の皆さんのご協力があったの、まちづくり協議会の活動なんだということを、強く感じながら代表して表彰状を受けて参りました。

当初、日置地区まちづくり協議会は、県道日置線の入口付近の休耕田に雑草が生い茂り、何とかしたいとの思いから、平成23年2月の日置を語る会にて説明提案をし、環境整備の一環として、休耕田でのそば作りから、活動の第一歩を踏み出しました。

今ではそば作りに加えて、環境部会は旧日置小学校周辺の環境整備、防災部会では災害に備えた防災訓練機材の購入、福祉部会では、地域の人々の高齢化に伴う、健康寿命を延ばすための取り組みなども始めたばかりです。

また、28年度からは、4集落の区長さん・集落代表・まちづくり協議会・公民館が一体となって日置の課題についての話し合いを、2ヶ月に1回開催することになりました。いま、日本各地で人口減少による弊害が起きておりますが、日置地区も例外ではありません。特に空き家が各集落で目立つようになってきております。このような事も日置地区としての対策・取組など時間をかけて検討していけたらと思っています。

地域で起こる様々な課題に対し、4集落で結束力の高い日置地区、皆が力をあわせれば、大概の事は解決出来るものと思っています。まちづくり協議会は、4集落の団結力と皆様のご協力を得ながら、日置地区がより住みやすい地域となるよう、今後とも心掛けてまいりますので、ご支援よろしくお願い致します。

がんばる住民自治活動団体鳥取県知事表彰を受賞

平成28年1月8日



受賞者全員で記念写真(知事公邸にて)

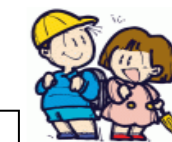
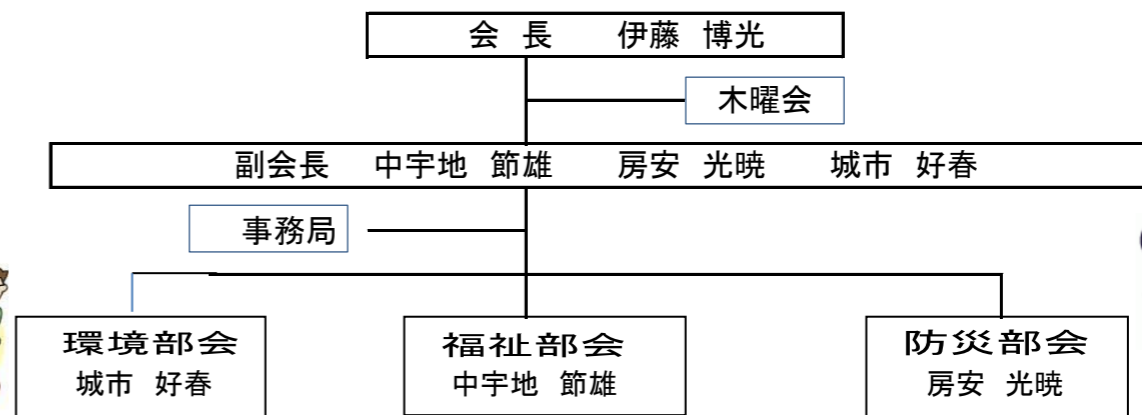


平井知事より表彰状を受ける



平井知事と記念写真

日置地区まちづくり協議会組織図



【環境部会】

平成27年度環境部が取り組んだ主な事業

- 早牛～山根線、下前田橋北川土手の散歩道のコンクリート舗装
 まず事前に型枠づくりから始めて、整地、型枠設置の作業を行いました。
 11月7日(日)午前8時から生コン打ちを始め、午後2時頃に終了。
 今回、市より生コン12㎡の支給があり、55mの舗装が出来ました。
 多く(25名)の住民ボランティアの方に作業にあたっていただき、お陰様で予定より短時間で作業は終了しました。大変感謝しております。有難うございました。
- 散歩道に休憩用の長椅子を設置・整備
 小畑、河原、山根、早牛の4地区に設置した長椅子のペンキ塗り替え等を行いました。
 みなさん散歩の途中等に安心して利用してください。 山根地内に1か所増設しました。
- 地区の環境整備
 年1回日置川周辺の環境整備を行います。このときは、雑木なども切り取ったりします。
 雪が解けてあちらこちらに散乱しているごみが一掃され、桜の季節を迎えます。
 公民館を中心とした日置地区の環境整備を年数回行います。たとえば4月26日(日)敬老会前、7月19日(日)の納涼祭、9月20日(日)の運動会前など、大きな行事の前には、環境部を中心として地域の方の応援を得て草刈り、草取りなどを行いました。
 運動会前環境整備についてアンケートを行ったところ、早朝の環境整備ですが参加者は50代・60代で、とてもよかった30%・まあまあ良かった42%・普通が27%の結果になりました。若い人の参加を促すためにはどうすればよいのか今後の課題です。
- 最後にまちづくり協議会副会長として思った事
 まち協として、様々な事業を共催・開催してきましたが、各地区でのイベントなどの日程が重なったり、PRが行き渡らなかったなど、多くの方に周知、参加して頂くには限界があり、イベントの盛り上がりには欠けた部分がありました。
 今後は各集落の団体が連携し、公民館だより等での住民への周知方法や参加者を増やす効果的な手法などを話し合い、さらに地域全体が盛り上がることを期待しています。



環境部会部会長 城市好春

山根散歩道舗装整備の様子



【防災部会】

将来的に厳しい人口減少が予測される為、各集落単位ではなく日置地区単位で検討する時期が近づいているように思います。

昨年鳥取市からの中山間地集落実態調査のアンケート調査が実施されました。各地区同じような傾向でしたが、日置地区の「今後も現住所に住み続けるか」の設問に、「日置地区には住みたくないが住む」の割合が他地区より高いのが気になりました。現在すでに中高年社会になっているのだから、高齢者が住み続けて良かったと思える日置地区になるような地域活動が必要ではないでしょうか。

防災活動も地域によっておかれた環境が異なるわけだから、すべて行政の支援を求めるだけではなく、ソフト面で如何にしたら、どうしたら日置地区を安全に住みやすくしていく事が、動ける中高年代の義務と責務ではなからうかという観点から、防災部会として次のような取り組みを行い住民の皆様へ啓発と学習を行ってきました。

東日本大震災の災害復旧体験談・救命救急・外傷処置・自主防災会としての取り組み講習等を行いました。又、青谷消防団・日置第5分団の協力指導のもと、各集落自警消防団が日置グラウンドに可搬ポンプを持参し合同放水訓練を行い技術の向上を図っています。このような訓練、講習を継続し、万一の災害に対処できるような地道な活動を行ってまいります。地域の皆様のなご一層のご参加、ご協力をお願い致します。

防災部会部会長 房安 光暁



災害時対応講座

放水訓練

発電機講習

【福祉部会】

健康寿命を延ばすために



福祉部会は、日置地区に暮らす人たちが年齢を重ねても、できるだけ自分の事は自分でできるように、住みなれた地域でいつまでもお元気に生活してもらえよう、健康寿命を延ばす取り組みに力を入れています。

8月23日には、鹿野温泉病院の木村章彦院長を講師に招いて、あおや和紙工房で健康づくり講座を開きました。当日は95人の参加者があり、「健康寿命を延ばすために—自立した生活を送る」とのテーマで、無理のない範囲で軽い体操や散歩など、体を動かす習慣をつけることの大切さについてお話を聞きました。

健康づくりには、日常的な運動の継続・習慣化が大切であり、今後ラジオ体操やウォーキング(散歩)など、それぞれの人の体力に合った運動を採り入れてもらうよう健康づくりの大切さについて啓発を行いたいと考えています。

なかでもラジオ体操は誰でも知っていて、何時でもどこでも手軽にできる運動ですので、色々な機会に実施してもらえよう、各集落や各種団体に働きかけたいと思います。毎日の運動習慣で、健康寿命を延ばしましょう。

福祉部会部会長 中宇地 節雄



血圧測定

健康づくり講座の様子

【そば部会】



そば部会は早牛集落県道沿いの休耕田に雑草が生い茂り、日置地区への来訪者及び地区住民に対し景観改善、環境美化活動の一環として取り組みました。

当初は未経験の状態から試行錯誤しながらのスタートでしたが地域の皆様のご協力とご意見を頂きながら5年を経過しました。

8月には草刈り・種まき、10月には収穫した実の洗い・乾燥・石抜き作業に地域の皆様に参加いただき昨年は約250キロの玄そばの収穫ができました。11月の収穫祭ではそばサークルのメンバーの協力を得て新そばをふるまい「おいしい」と好評を得ています。又、そばの栽培を通じて市内城北地区との交流を進めて4年になりますが大変好評の内に継続しています。

現在月1回のそばサークルを実施し、そば打ち名人の育成を行っています。

日置のそばを次のステージへ展開するため、皆様の参加ご意見をお寄せ頂きステップアップして行きたいと思っています。

釜谷 幹雄



そばの種まき



そばの実洗い



収穫祭そばの振る舞い

【城北地区との交流】

里山交流促進モデル事業として始まった城北地区との交流が今年で4年目を迎えました。

そば作りをメインに、子どもから大人まで色々な事業を通じて交流を行ってきました。このご縁を大切に今後も交流を継続していく予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

今年度は次のような事業で交流が行われました。

- ① そばづくり交流…そばの種まき・そばの実洗い・収穫祭のそば打ち体験などを通じて、それぞれ顔なじみもでき、どの会でも話が弾みました。
- ② 夏休み子どもたちを中心にサマーキッズ交流…ますのつかみ取り、バーベキュー、スイカわりなど思い出がいっぱいです。
- ③ グラウンドゴルフ交流…今回は城北地区に出かけ対戦しました熱戦の後「憩いの家」での交流会は、カラオケ大会等でとても盛り上がりしました。
- ④ 秋には城北地区文化祭に出店しました…「まめな会」の作品、こんにやく、しぐれ漬け、しょうがの佃煮など手作りにこだわって出品し、大変喜んで頂きました。



サマーキッズ



GG交流大会



そばの実洗い・そば打ち体験・収穫祭

